令和6年度第2回さいたま市町名町界審議会 会議録

1 会議の名称	令和6年度第2回さいたま市町名町界審議会
2 会議の開催日時	令和6年12月25日(水) 10:00～11:05
3 会議の開催場所	ときわ会館5階小ホール
4 出席者名	<p>【委員】 角谷史織会長、井上昌美委員、吉田正信委員、 椎名美雪委員、宮代智雅委員</p> <p>【臨時委員】 金井塚久夫委員、高力正男委員、大熊博委員、 鈴木晴夫委員</p> <p>【事務局】 市民局 丸屋局長 区政推進部 川島参事、加藤調整幹、 中村主査、山田主査、山本主任</p>
5 欠席者名	日向野栄委員、坂本晃規委員、齋藤知作委員
6 議題及び公開又は非公開の別	<p>(1) 丸ヶ崎地区に関する町名・町界変更案について【公開】</p> <p>(2) 大門上・下野田地区に関する町名・町界変更案について【公開】</p>
7 非公開の理由	—
8 傍聴者の数	1人
9 審議した内容	<p>(1) 丸ヶ崎地区に関する町名・町界変更案について</p> <p>(2) 大門上・下野田地区に関する町名・町界変更案について</p>
10 問合せ先	市民局 区政推進部 住民記録戸籍担当 電話番号 048(829)1833
11 その他	—

●会議録

1 開会

午前10時開会。

2 局長挨拶

丸屋市民局長から、開会にあたっての挨拶を行った。

3 臨時委員紹介

本日付で市長から委嘱された臨時委員から、一言ずつ挨拶を頂戴した。

4 議事

■傍聴人入室

○会長 まず、本審議会は公開としておりますけれども、本日の傍聴希望者について、事務局からお説明をお願いいたします。

○事務局 報告いたします。本日の審議会には、1名の傍聴希望者から申請がございます。

○会長 ありがとうございます。ただいまの事務局の説明によりますと、本日の審議会には1名の傍聴希望者がおられるということですが、これより傍聴希望者には入室をさせていただきますけれども、よろしいでしょうか。

○委員 異議なし

○会長 それではご入室していただければと思います。

■議事1

○会長 それでは次第の4、本日の議事に入りたいと思います。議事(1)丸ヶ崎地区に関する町名・町界変更案について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 議事1、丸ヶ崎地区に関する町名・町界変更案について、事務局から説明をさせていただきます。資料1をご覧ください。

まず、1町名町界変更案概要について。町名案については丸ヶ崎1丁目及び丸ヶ崎2丁目という名称になります。こちら資料に記載した位置図を参照していただきたいんです

けれども、立地的には東大宮駅を基準点といたしまして、東大宮バイパスを挟んで南側を1丁目、北側を2丁目として区域しております。

つづいて、町界案としては、丸ヶ崎土地区画整理事業区内の「大字丸ヶ崎」及び「大字深作」を新町名の区域としています。

ただし、土地区画整理区域内の一部区域、春野3丁目の7番、12番、13番街区に接する「大字丸ヶ崎」について、位置図でいうと青枠で囲まれた区域になりますけれども、こちらは、街区を囲む道路を境界として、住居表示実施区域である春野3丁目に編入するという町界案になっています。

つづいて、新しい住所の表記としましては、丸ヶ崎1丁目及び2丁目の区域については、町名地番整理の手法を用いて、住所を整理することから「○丁目○番地○」という表示となります。また、春野3丁目に編入する区域については、住居表示の手法を用いて、住所を整理することから、「○丁目○番○号」という表示となります。

町名町界変更案概要についての説明は以上となります。

つづいて、項目2丸ヶ崎地区に関する町名・町界検討会での検討経緯について説明をいたします。

町名町界の変更案を決定するにあたって、区画整理組合委員や地元自治会の方々など関係する地元住民の皆様を中心とした協議体であります、丸ヶ崎地区に関する町名・町界変更検討会というものを設けまして、1年間にわたり協議を重ねて参りました。

検討経緯を簡単に説明させていただきますと、令和5年8月から令和6年1月までに開催した第1回から第3回の検討会において、町名変更範囲を区画整理地区内とする方針、新しい町名を「丸ヶ崎1丁目、2丁目」とし、東大宮駅を基準点として、国道16号から南側を1丁目、北側を2丁目とする方針を決定しました。

続く令和6年3月に開催した第4回検討会では、区画整理地域内の春野3丁目と接する一部区域について、春野3丁目へ編入すること、区画整理地域内の大字深作の区域について、町名を丸ヶ崎1丁目とする方針をそれぞれ決定しました。

続く令和6年5月に開催した第5回検討会では、これまでの検討会で決定した方針をとりまとめ、検討会における町名・町界変更案として決定し、市へ報告を行いました。

続く令和6年10月に開催した第6回検討会では、町名町界案について地元住民の皆様を実施したアンケート調査の結果報告等を行いました。

町名・町界検討会での検討経緯の概要については以上となります。

つづいて住民アンケート実施結果について報告をいたします。

町名町界変更案については、町名町界変更対象区域に、住所・本籍を持つ住民の皆様、土地建物の権利者、事業を営んでいるの方々に対して、アンケート調査を実施しています。

その結果として、送付数が900通。うち返戻が61通。送付数のうち回答数が207

通、回答率としては24.67%となります。

アンケートの集計結果としては、町名・町界検討会で決定した案に対する得票数が181（得票率87.44%）、その他に対する得票数が26（得票率12.56%）という結果となり、町名・町界検討会で決定した案について、過半数以上の得票を得たという結果となりました。

住民アンケート実施結果についての報告は以上となります。

つづいて丸ヶ崎地区に関する町名・町界変更案の町名地番整理実施基準及び住居表示実施基準との整合状況について説明をいたします。

まず丸ヶ崎1丁目、2丁目の町名地番整理実施区域についてなんですけれども、町の境界について、基準では道路、鉄道、河川、水路、その他恒久的な施設で区切ることを求めており、変更案では道路及び河川で区切ることでなっていることから、適合しています。

次に町の形状及び規模について、対象区域内で、都市計画事業、開発行為がないことについて、適合しています。

また、できるだけ簡明な境界線をもって区画され町が一団として形成されていることについて、変更案では国道16号で区切り、境界はすべて道路等で明確に区画されていることから、基準に適合しています。

次に街の規模は周辺町と比較し、人口・面積規模と同程度であることについて、参考として隣接する春野1～4丁目の町の規模と同程度であることから、基準に適合しています。

次に町面積の基準についても、丸ヶ崎1丁目、2丁目ともに面積要件は基準の範囲となっています。

次に基準点について最寄り駅等とすることについて、変更案は最寄り駅である東大宮駅を基準点として採用していることから、適合しています。

つづいて、町の名称の決め方について、従来の町の名称に準拠すること、同一町名等を解消すること、丁目はおおむね4、5丁目にとどめ、10丁目を限度とすること、について、いずれも適合しています。

続いて、街区割りについて、街区の境界、街区の規模、地番の整理について、今後、基準の考え方に適合した形となるように、法務局と協議を行う予定です。

町名地番整理実施基準との適合状況は以上となります。

つぎに、春野3丁目の住居表示実施区域についてなんですけれども、住居表示の方法は街区方式を用いることとしており、基準に適合しています。

町の境界について、基準では道路、鉄道、河川、水路、その他恒久的な施設で区切ることを求めており、変更案では道路及び河川で区切ることでなっていることから、適合しています。

次に町の形状及び規模について、対象区域内で、都市計画事業、開発行為がないことについて、適合しています。

また、できるだけ簡明な境界線をもって区画され町が一団として形成されていることについて、春野3丁目に編入される区域は、住居表示実施区域の縁辺部であり、かつ境界は道路等で明確に区画されていることから、基準に適合しています。

次に街の規模は周辺町と比較し、人口・面積規模と同程度であることについて、隣接する春野1、2、4丁目の町の規模と同程度であることから、基準に適合しています。

次に町面積の基準についても、編入後の春野3丁目の面積は約11.2ヘクタールとなり、基準の範囲となっています。

次に基準点について最寄り駅等とすることについて、変更案は最寄り駅である東大宮駅を基準点として採用していることから、適合しています。

つづいて、町の名前の決め方について、従来の町の名前に準拠すること、同一町名等を解消すること、丁目はおおむね4、5丁目にとどめ、10丁目を限度とすること、について、いずれも適合しています。

最後に街区割りについて、街区の境界、街区の規模、街区符号のつけ方については、今後、基準の考え方に基つき、市により住所の付定を行う予定です。

以上、丸ヶ崎地区に関する町名・町界変更案についての概要説明です。ご審議のほどよろしく申し上げます。

○**会長** 事務局から議事1について、ご説明いただきました。それでは議事1に関する事前に募った意見について、事務局から報告をお願いします。

○**事務局** はい、わかりました。議事1に対する事前意見については、意見が寄せられなかったことを報告いたします。以上です。

○**会長** ありがとうございます。それでは議事1について、審議に入りたいと思います。ご質問がある方はご発言いただければと思います。

○**井上委員** アンケート調査はいつ実施したんでしょうか。

○**事務局** 今年の7月下旬に発送をいたしまして、回答期間はおよそ1カ月程度設けたものとなります。

○**井上委員** 町名町界検討会の場で、アンケート調査を実施することのアナウンスは行ったんでしょうか。

○事務局 実施しております。

○井上委員 わかりました。

○吉田委員 アンケートの結果なのですが、900通発出して、61通返戻があったと。そのうえで回答数が207通で、回答率だと大体25パーセントくらい。もう一つの大門上・下野田地区でも同じくらいの回答率なんですけれども、この回答率というのは、大体このくらいの数字になるものなんですか。

○事務局 近年実施したアンケート調査の回答率としては、2,3割くらいにとどまる事例が多いです。

○吉田委員 あまり関心がないということなんでしょうか。もう少し回答率が上がってもいいような気がしますけれども。

○事務局 アンケートの回答率については、このような数字になりますけれども、町名町界の変更案を固める過程においては、地域を代表する方々で構成された検討会で出た意見を都度、自治会等を通じて地元に戻したうえで、また次回の検討会に乗せるという形で綿密に地元協議を行っています。なので、地元住民の皆様も、変更案の内容をまったく知らないというわけではなくて、検討を重ねた経過は地域住民の皆様も理解していると、事務局としては考えております。

○吉田委員 分かりました。

○会長 その他の意見はよろしいでしょうか。それでは、議事1についてまとめたいと思います。本議事は事務局案を承認するというところでよろしいでしょうか。

○委員 異議なし

○会長 それでは妥当ということで判断しましたので、事務局の方で、答申の手続きを進めていただくようお願いします。

■議事 2

○会長 それでは次の議事に入ります。議事 2、大門上・下野田地区に関する町名・町界変更案について、事務局の方からご説明をお願いいたします。

○事務局 それでは、議事 2、大門上・下野田地区に関する町名・町界変更案について、事務局から説明をさせていただきます。

資料 2 をご覧ください。

まず、1 町名町界変更案概要について。町名案については大門 1 丁目～4 丁目という名称になります。資料の位置図を参照していただきたいのですが、立地的には最寄り駅の浦和美園駅を基準点といたしまして、国道 4 6 3 号バイパスの南側の区域について、東側から順に 1 丁目～4 丁目としています。

つづいて、町界案としては、さいたま市大門上・下野田特定土地区画整理事業及び大門下野田特定土地区画整理事業地区内の「大字大門」及び「大字下野田」を新町名の区域としています。

つづいて、新しい住所の表記としましては、町名地番整理の手法を用いて、住所を整理することから「○丁目○番地○」という表示となります。

町名町界変更案概要についての説明は以上となります。

つづいて、項目 2 大門上・下野田地区に関する町名・町界検討会での検討経緯について説明をいたします。

町名町界の変更案を決定するにあたって、区画整理組合委員や地元自治会の方々など関係する地元住民の皆様を中心とした協議体であります、大門上・下野田地区に関する町名・町界変更検討会を設けまして、1 年間にわたり協議を重ねて参りました。

検討経緯を簡単に説明させていただきますと、令和 5 年 7 月と 1 0 月に開催した第 1 回、第 2 回の検討会において、町界について、西側は東北自動車道沿い、東側は埼玉高速鉄道線沿い、南側を区画整理の範囲どおりとする方針を決定しました。

続く令和 6 年 1 月と 3 月に開催した第 3 回、第 4 回検討会では、町名を大門とし、南北の道路で区切って、浦和美園駅に近い東側から 1～4 丁目に分ける方針を決定しました。

続く令和 6 年 5 月に開催した第 5 回検討会では、北側の町界について、隣接する大門下野田特定土地区画整理事業の区域を含む方針を決定しました。

続く令和 6 年 6 月に開催した第 6 回検討会では、これまでの検討会で決定した方針をとりまとめ、検討会における町名・町界変更案として決定し、市へ報告を行いました。

続く令和 6 年 1 0 月に開催した第 7 回検討会では、町名町界案について地元住民の皆様に実施したアンケート調査の結果報告等を行いました。

町名・町界検討会での検討経緯の概要については以上となります。

つづいて住民アンケート実施結果について報告をいたします。

町名町界変更案については、町名町界変更対象区域に、住所・本籍を持つ住民の皆様、土地建物の権利者、事業を営んでいる方々に対して、アンケート調査を実施しています。

その結果として、送付数が1769通。うち返戻が37通。送付数のうち回答数が445通、回答率としては25.69%となります。

アンケートの集計結果としては、町名・町界検討会で決定した案に対する得票数が342（得票率76.85%）、その他に対する得票数が103（得票率23.15%）という結果となり、町名・町界検討会で決定した案について、過半数以上の得票を得たという結果となりました。

住民アンケート実施結果についての報告は以上となります。

つづいて大門上・下野田地区に関する町名・町界変更案の町名地番整理実施基準との整合状況について説明をいたします。

まず、町の境界について、基準では道路、鉄道、河川、水路、その他恒久的な施設で区切ることを求めており、変更案では道路及び鉄道で区切ることとなっていることから、適合しています。

次に町の形状及び規模について、対象区域内で、都市計画事業、開発行為がないことについて、適合しています。

また、できるだけ簡明な境界線をもって区画され町が一团として形成されていることについて、変更案では南北に走る道路で区切り、境界はすべて道路等で明確に区画されていることから、基準に適合しています。

次に街の規模は周辺町と比較し、人口・面積規模と同程度であることについて、参考として隣接する東大門1～3丁目の町の規模と同程度であることから、基準に適合しています。

次に町面積の基準についても、大門1丁目～4丁目ともに面積要件は基準の範囲となっています。

次に基準点について最寄り駅等とすることについて、変更案は最寄り駅である浦和美園駅を基準点として採用していることから、適合しています。

つづいて、町の名称の決め方について、従来の町の名称に準拠すること、同一町名等を解消すること、丁目はおおむね4、5丁目にとどめ、10丁目を限度とすること、について、いずれも適合しています。

続いて、街区割りについて、街区の境界、街区の規模、地番の整理について、今後、基準の考え方に適合した形となるように、法務局と協議を行う予定です。

町名地番整理実施基準との適合状況は以上となります。

大門上・下野田地区に関する町名・町界変更案についての概要説明は以上となります。
ご審議のほどよろしく申し上げます。

○**会長** 事務局から議事2について、ご説明いただきました。それでは議事2に関する事前に募った意見について、事務局から報告をお願いします。

○**事務局** わかりました。議事2に対する事前意見については、意見が寄せられなかったことを報告いたします。以上です。

○**会長** ありがとうございます。それでは議事2について、審議に入りたいと思います。ご質問がある方はご発言いただければと思います。

○**吉田委員** この後の住所変更までの実際の流れを確認したいんですけど、この審議会では変更案について答申を受けます。その後、議会で町名町界の変更案について承認を得て、そのあと実際に番地、枝番を個々に振っていくという流れになるんですか。

○**事務局** 地番の変更は、具体的には換地処分が行われた後のタイミングで実施する形となります。そのため、町名町界変更案に係る市議会での議決の後、土地区画整理事業の換地処分がスケジュールどおりに行われれば、一連の流れで住所の変更が行われることとなりますが、仮に換地処分の実施が後ろ倒しになる場合、換地処分が実施されるまでは、住所は現在のままという形になります。

○**吉田委員** 住所の変更に伴い、そこに住んでいる住民は、新住所を知人等に知らせることが必要になると思いますけれど、それらの周知は住民が都度行う必要があるのでしょうか。郵便局では、そうした住所変更を知らせるための手段として、通信事務郵便のハガキを、1世帯につき数十枚単位で配布することなどがあると思いますが、今回の町名町界変更の事案においても、そのような取り扱いはされるのでしょうか。

○**事務局** 町名等の変更に際しては、その変更の1か月前に対象地域にお住まいの方に対して、「住所変更の手引き」というお知らせを行政から送付します。委員指摘の通信事務郵便用のハガキは、この手引きに同封する形で、1世帯につき何十枚という単位で、住民の方々にお配りする形になると思います。

○**吉田委員** そうすると、住所変更のお知らせの到達後に、住民が自身で周知するということでしょうか。

○事務局 そのような取り扱いとなります。

○金井塚委員 町の変更に伴う、住所の変更手続きについて、対象地域に住んでいる住民の中には、全部自分でやるのかみたいな抵抗はあるかもしれない。

○事務局 町名変更に伴う住所変更の手続きは、原則として、住民記録に関する手続きは行政側で行うこととなります。そのため、それに付随する形で切り替わる情報、たとえば介護保険被保険者証の書き換えなどは、特に住民側で手続きをしなくても自動で切り替わることとなります。しかし、それ以外の変更、例えば運転免許証の書き換えやマイナンバーカードの券面変更などは、ご自身で手続きを行っていただく必要があります。

また不動産登記についても、表題部の情報は自動で切り替わりますが、権利部の書き換えはご自身で手続きを行っていただく必要があります。

○会長 この手続きは職権で切り替わって、この手続きは住民自らが手続きをする必要があるのかという、個別の変更手続きの案内については、住所変更の手引きにて、詳細の説明がされるものという認識でよいでしょうか。

○事務局 そのとおりです。

○吉田委員 今は保険証など色々な機能がマイナンバーカードに搭載されているが、町名変更に際して、マイナンバーカードの切り替えは自身で行う必要があるということか。

○事務局 そのとおりです。住民の皆様が自身で区役所へ来庁し、マイナンバーカードの券面の情報を書き換える手続きをとる必要があります。

○宮代委員 不動産の登記事項の変更について、補足説明をいたしますと、不動産の登記における表題部の情報は、原則として職権で書き換わります。一方、権利部の住所については、権利者様による手続きを行う必要があります。なお、変更申請にあたっては、市役所から町名地番の変更証明書が発行されるので、その変更証明を添付していただければ、登記の書き換えに伴う登録免許課税は非課税という扱いとなり、申請者側の費用負担は生じない取扱いとなります。

○吉田委員 了解しました。

○会長 その他、御意見のある方はいらっしゃいますか。

○宮代委員 一点、地番の付番に際する法務局との協議の留意事項として、自治体側に気に留めておいていただきたいことがあります。実際に地番を付番するのは法務局にて行うことになるのですが、地番変更を行うにあたり、元となる換地処分案の情報提供は、実際に処分を行う半年ほど前には提供をいただき、調整を行うことが望ましいです。

というのも、法務局の方でも町名や地番等が変更することに伴い、様々なシステムの変更が必要となります。実際に他の自治体の事例として、換地処分前の事前調整が遅れたことで、これらシステム上の変更が町名変更のタイミングに合わせられなかった事例なども見受けられます。

については、滞りなく変更の事務を行うために、関係機関との協議は十分な期間を設けたうえで、綿密に行っていただくようお願いします。

○事務局 了解しました。

○宮代委員 それと最後に一気にになったことがあるのですが、大門上・下野田地区の町名町界変更案を位置図で確認すると、高速道路のインターとなる区域は変更地域から除かれています。将来的に町名を変更するなど、後から手を付けられるような想定はあるのでしょうか。

○事務局 対象区域は国土交通省が所管する道路区域であり、将来にわたり対象区域に住民が住むという想定もないことから、将来にわたっても町名地番変更を行う予定はありません。

○宮代委員 わかりました。

○会長 それでは、他に意見はありますか。ないということであれば、議事2のさいたま市町名地番整備実施基準の案については、事務局作成の案を承認するということがよろしいでしょうか。

○委員 異議なし

○会長 それでは、妥当ということで判断いたしましたので、事務局の方で答申の手続きを進めてください。

8 報告事項

○会長 それでは、次第8、報告事項について、事務局から説明をお願いします

○事務局 はい、報告事項が3点ございます。まず、本日の諮問事項に関する答申書の取扱いになります。本日の諮問事項に関する答申書ですが、事務局にてその案を作成して、会長に内容を確認していただいた後、正式な答申書として作成をいたします。

答申書は後日その写しを各委員様に送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。

続いて、本日の議事録についてです。本日の会議録に関してでございますが、事務局にて案を作成した上で、後日各委員様に送付をし、内容を確認したものを確定版として、情報を共有させていただきますのでよろしくお願いいたします。

最後に、本年度の審議会でございますが、本日、2地区の住所変更案について、いずれも審議会から承認をいただいたことから、第2回審議会をもって、予定どおり、本年度の審議会は終了となります。

事務局からの報告事項は以上でございます

○会長 今回の報告事項についてご質問ございますか。

○委員 質問なし

○会長 では確かに報告を受けたことといたします。それでは以上で第2回さいたま市町名町界審議会を終了させていただきます。お疲れさまでした。

9 開会

午前11時05分、閉会。